

● 学生表彰

広島市立大学には、学術研究活動、課外活動、社会活動において活躍した学生や学生団体を表彰する制度があり、後援会では受賞者に副賞として図書カードを贈呈しています。2020年度受賞者は、以下のとおりです。受賞内容については、広島市立大学ウェブサイトをご覧ください。
【氏名・学部・学年 ※学年は2020年度当時】

◇学長賞（個人1件）

まつもと ちさと
松本 千里 ・芸術学研究所(博士後期) ・1年

開学以来2人目となる学長賞が決定しました。松本さんは、第11回「六甲ミーツ・アート芸術散歩2020」において、国内外からの応募と招待作家含め213作品の中から準グランプリを受賞しました。2017年度学長奨励賞の受賞に続いて特に顕著な功績が認められ、今回の学長賞受賞となりました。



広島市立大学国際学生寮さくらに所蔵されている松本さんの作品「独歩の衆」

◇学長奨励賞（個人4件）

こすぎ たくみ
小杉 拓己 ・平和学研究所(修士課程) ・2年

いしざき はるき
石崎 遙己 ・情報科学研究科(博士前期) ・1年

やまもと あみ
山本 愛海 ・情報科学部 ・4年

あぶらぎ ゆう
油木 悠 ・情報科学研究科(博士前期) ・1年

◇学生顕彰（個人8件）

やました ひろと
山下 浩豊 ・情報科学研究科(博士前期) ・1年

たたと の よしひと
多々納啓人 ・情報科学研究科(博士前期) ・1年

こうろじ りょう
高路地 諒 ・情報科学部 ・4年

てらもと
寺本ちひろ ・情報科学部 ・3年

まつお なほ
松尾 奈保 ・芸術学研究所(博士前期) ・2年

まつかわ はなこ
松川 華子 ・芸術学研究所(博士前期) ・1年

むらかみ あかり
村上明花里 ・芸術学研究所(博士前期) ・1年

たなか ゆうな
田中 優菜 ・芸術学研究所(博士前期) ・1年

◇学生顕彰（団体2件）

第19回キャンパスベンチャーグランプリ応募チーム
(土屋和也・情報科学研究科、下家大和・情報科学部)

広島市立大学 軟式野球部

コロナ禍の中での就職・キャリア形成支援

昨年と今年の就職活動は、新型コロナウイルス感染拡大の影響で「オンライン就活」が主流となっています。キャリアセンターでは、「オンライン就活」に対応した就職支援や、学生が登校できない場合でも対応可能なキャリア形成支援に取り組んでいます。その主なものを紹介します。

(1)オンライン「進路相談」・「模擬面接」

相談等は、従来は対面で実施していましたが、コロナ禍による登校制限を契機にオンラインでの実施を始めました。模擬面接は、キャリアアドバイザーが企業側の面接者役になって、実習形式で行います。2020年度は実際の採用面接もオンラインが主流になり、この取組が「いい練習になった」と好評でした。

(2)メールマガジン「キャリア通信」の発行

キャリアセンターには、企業の求人票や会社説明会の案内、自治体の採用試験の案内等が届きます。従来はそれらの情報を、学内に掲示する方法で情報提供していましたが、コロナ禍による登校制限を契機にメールマガジンにして発信する方法に変更しました。学生からは「外出できなくてもタイムリーに求人情報を知ることができて助かる」といった声が寄せられています。

(3)「オンライン学内企業研究セミナー」の開催

3月1日に企業の採用広報が解禁され、2022年3月卒業・修了生の就職活動が本格的に始まりました。これに先がけて、学生の企業理解を深め、就職活動に対する意識を高めることを目的に、「学内企業研究セミナー」を開催しました。このイベントは、コロナ禍の影響を受けないように、最初からオンラインでの実施を企画しました。

2月12日から2月26日までの平日10日間に、約200社の企業にご参加いただいて、インターネット上の仮想会場で企業説明を行っていただく企画で、学生は関心のある企業を選択し、最大で1日8社、10日間で80社の説明をリアルタイムで聞くことができるイベントでした。また、説明を録画する許可が得られた企業については、一定期間オンデマンドで視聴することができる見逃し配信も行いました。

これらの取組は、コロナ禍の中でも実施可能な代替策として始めたものですが、従来の方法に比べて移動時間や経費が縮減できるなど、学生にとっての利点もありました。キャリアセンターでは、これからもプラス思考で、学生の就職・キャリア形成支援に取り組んでまいります。

自主研究・創作活動等の費用助成

後援会では「学会発表」「公募展出品」「研究発表会開催」「個展・グループ展開催」などの、自主研究・創作活動等の費用助成を行っています。今号では、この制度を活用した長岡愛実さん（芸術学部美術学科油絵専攻4年生）に、お話を伺いました。

「芸術学部では4年間の学びの集大成として、卒業（卒業・修了作品展）を学年末に開催していますが、その1年前にはプレ卒業展を体験し、本番を迎える準備をします。私達はプレ卒業展の制作費を助成していただきました。1、2年生時は基礎技術を習得するために与えられた課題をひたすらこなしていきますが、3年生からはその枠から専門的かつ自由な表現へと学びを進めます。そのタガをどう外していくかが、表現力の一部にもなります。作品を通して、それぞれの人生観や世界観に刺激を受けながら、社会人になってからも芸術活動との関わりを持ち続けたいと思います。」と話してくれました。

助成対象は芸術学部の学内活動に限りません。詳しくは、後援会事務局（事務局学生支援グループ）までお問い合わせください。

2020年度 後援会役員紹介

(敬称略)

名前	学部	学科	学年
久保田 美和	国際	国際学科	1
大林 育代	情報	(学部配属)	1
澤田 勇二	情報	(学部配属)	1
竹本 多希子	情報	(学部配属)	1
谷口 幸子	情報	(学部配属)	1
平本 武士	情報	(学部配属)	1
原田 憲一	芸術	デザイン工芸学科	1

※前号でご紹介した役員の皆様に加え、2020年度第2回理事会において、新任理事の皆様が選出されました。

卒業・修了記念品



後援会では、学部卒業生に卒業記念品を、大学院修了生に修了記念品を贈呈しています。

2021年3月に学部を卒業した第24期卒業生には、記念品として名刺入れを贈りました。名刺入れは黒革のシボのあるデザインで、「広島市立大学後援会」の文字が型押しされています。

2021年3月の第21期修了生には、記念品としてペーパーウェイトを贈りました。透明のガラスの中に「広島市立大学大学院博士前期課程修了記念 広島市立大学後援会」の文字をプリントしています。

記念品を活用いただき、卒業生、修了生の皆さんが社会で活躍されることを願っています。

